

## 再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名： 三浦 真紀

<b>事業名</b> 地域高規格道路 下北半島縦貫道路 一般国道279号 吹越バイパス	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 青森県
<b>起終点</b> 自：青森県上北郡横浜町吹越 至：青森県上北郡六ヶ所村尾駈	<b>延長</b> 5.8km	
<b>事業概要</b> 下北半島縦貫道路は、下北地方生活圏の中心都市むつ市と東北縦貫自動車道八戸線を結ぶ延長約60kmの地域高規格道路である。吹越バイパスは、一般国道279号の現道隘路（JR大湊線平面踏切、急勾配、線形不良）の解消と下北地方生活圏の連携強化を図るとともに、国家エネルギー施策を進めているむつ小川原開発地域へのアクセス強化を目的とする事業である。		
H20年度事業化	H22年度用地着手	H22年度工事着手
<b>全体事業費</b> 約71億円		<b>事業進捗率</b> 44%
<b>計画交通量</b> 7,000台/日		<b>供用済延長</b> 0km
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 2.0 (残事業) 2.4	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 58/71億円 (事業費: 53/66億円) (維持管理費: 5/5億円)
		<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 142/142億円 (走行時間短縮便益: 85/85億円) (走行経費減少便益: 32/32億円) (交通事故減少便益: 25/25億円)
<b>基準年</b> 平成24年		
<b>感度分析の結果</b> (事業全体) 交通量 : B/C=1.98 ~ 2.04 (交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.85 ~ 2.19 (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.92 ~ 2.08 (事業期間±1年)		
<b>事業の効果等</b> ・自然災害時における緊急輸送道路ネットワークや原子力防災体制の確立 ・下北地域の観光振興をはじめ、地域経済の底上げや地域の活性化への効果 ・冬期間における交通環境の改善 ・下北半島から高度医療施設への搬送時間の短縮		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> むつ市長を会長とする沿線市町村、議会議長、商工会長等により構成する下北半島振興促進連絡協議会より、国土交通省へ「下北半島縦貫道路の整備促進について」要望が出されている。 地元で働く女性で構成される「下北未来塾」が、生活者の視点から下北半島縦貫道路が下北地域の生活に必用不可欠の社会資本であることを地域の声（熱意）として強く訴えている。		
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 対応方針(案)どおり「継続」(附帯意見なし)		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 平成20年度に事業着手して、用地進捗率100%、事業進捗率44%である。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 地権者や地域住民は本事業に理解を示し、事業は円滑に進んでいる。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 再生路盤材などの建設副産物の有効活用、小規模構造物の工場製品使用を積極的に進め、コスト縮減を図っている。		

対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	以上の状況を踏まえると、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。
事業概要図	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。